

1月5日発行

世帯と人口  
(令和7年12月1日現在)

区分	世帯(戸)	人口(人)
浜松市	360, 416	778, 883
前月比	6	△412
天竜地区	7, 638	16, 742
前月比	+8	△10
竜川地区	435	876
前月比	+1	△3

※12月20日現在の予定です。日程が  
変更になる場合があります。  
ご了承ください。

ほのぼの会給食サービス 1月20日  
13:00~16:00

元旦〔祝日〕	1日(木)
官公庁御用始め	5日(月)
七草	7日(水)
110番の日	10日(土)
鏡開き・蔵開き	11日(日)
成人の日〔祝日〕	12日(月)
全国緑化キャンペーン	15日(木)
防災とボランティアの日	17日(土)
大寒	20日(火)
文化財防火デー	26日(月)
国旗制定記念日	27日(火)

本年もよろしくお願いいたします。

2026年 元旦 竜川ふれあいセンター



「今年も、明るい笑顔で……」

龍川ふれあいセンター活動推進委員会

委員長 溝口 玄

新年あけましておめでとうございます。

昨年も竜川ふれあいセンターの様々な活動に、御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様にとりまして、本年が平穩で実り多い年になりますよう祈念いたします。

昨年恒例の「2025年 新語・流行語大賞」の発表がありました  
 「緊急銃猟／熊被害」「古古古米」「国宝（観た）」「二季」「卒業  
 証書19・2秒」「物価高」等々は、昨年よく耳にした言葉ですが、  
 新語・流行語としてノミネートされた三十の言葉の内、「エツホエツ  
 ホ」「チャッピー」「ビジュイイじゃん」「ラブブ」など、半分近く  
 解らなかつたことが個人的にショックでした。

大賞は「働いて働いて働いて働いてまいます／女性総理」でした。

その受賞理由について、主催者は、「このところとんと聞かなくなつた気合の入つた物言いに、働き方改革推進に取り組む経済界は、肝を抜かれた。」と言ひ。また、「この言葉に共感した昭和世代も実は多かつたのではないか。仕事つてそういうものだったな」とも言つていました。そういえば、今から四十年近く前の流行語に「二十四時間戦えますか」という某栄養ドリンクのキャッチコピーがあつたことを思い出しました。あの頃は、みんな頑張つていましたね。

さて、昨年の竜川地区ですが、若い人たちを中心に「盆踊り」や「お祭り」、「ハロウィン」などが様々な工夫を凝らして行われ、着実に新しい地域行事として定着してきていると感じました。

五月に行われた横山小学校の「運動会」での子供たちの頑張りと笑顔、中学生や地域の人たちとの交流も素敵でした。また、恒例の「たつかわ山の幸物産展」も天候に恵まれ賑やかに行われ、地域の活気を感じました。

三月には、「竜川ふれあいセンターまつり」の開催を予定しています。昨年以上に楽しい一日になるように準備を進めておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

今年も多くの皆様に竜川ふれあいセンターを御利用いただき、様々な活動を通して、明るい笑顔で、元気にお互いの交流を深めていただけたら幸いです。



## 中山間地域の愛称投票のお願いについて

この度、浜松市の中山間地域について、地域のイメージに合い、親しみやすさにつながる「愛称」を定めることとしました。

愛称の候補については、令和7年5月15日から7月31日にかけて募集し、市内外から695点もの応募がありました！

愛称は、皆さんの投票で決定します。ご応募いただいた695点の中から選考された5点のうち、中山間地域のイメージに合うもの、中山間地域をより身近に感じられるもの「1つ」に投票をお願いします！

※中山間地域：天竜区及び浜名区引佐町北部

愛称候補 ・いなてん ・オクハマ  
・サトハマ ・はまさと ・はまのもり



投票期間：令和7年12月19日（金）～令和8年1月20日（火）

投票方法：URL：<https://logoform.jp/form/Savd/1323796>

## 新春餅つき大会を開催します。

日時：1月11日（日） 午前10時～（予定）

場所：竜川ふれあいセンター

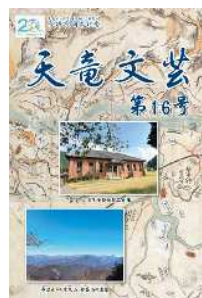
参加：自由参加

主催：チーム村田

☆みんな来てね！



## 天竜文芸第16号



創作・評論・自然・歴史・文化、随筆、詩、短歌、俳句、川柳といった多彩なジャンルを楽しんでみませんか？

日々の暮らしの描写から、知られざる天竜区の魅力まで、ぜひ「天竜文芸」の世界に触れてみてください！

発売開始：令和7年12月19日（金）

価格：500円

### 【販売場所】

天竜区まちづくり推進課

（天竜区役所本館2階）（TEL922-0086）

龍山森林文化会館 （TEL968-0331）

佐久間支所 （TEL966-0006）

水窪文化会館 （TEL982-0013）

春野文化センター （TEL989-0200）

竜川ふれあいセンター （TEL923-0004）

## 凍結防止剤をご利用ください！

ふれあいセンター正面入り口横に、「凍結防止剤」を用意しましたのでご利用ください。

土曜・日曜・夜間など、センター職員が不在の場合でも必要に応じて搬出をお願いします。

凍結した道の運転には、十分注意してください！



しかし、人情というものは、妙な所へ意地を張るもので、「止めろ」といえば「やりたい」もので、見聞きを止められれば、止められる程見聞きたいもので、「そんな事で病氣などになるものか、一つ己れが試してみよう」という命知らずの者が出てくるもので、そこへ罷（まかり）り出たのは、この淵の下に金山と称する銅鉱の採掘している所の一抗夫が漁をしようとして「ダイナマイト」を、この淵に投げ入れた。魚の群れは、不意の襲撃に樂天地の夢はこわれ、浮びつ、沈みつ、苦しみを訴え、彼の抗夫得たりと網で捕る、手で捕えて多数の獲物にほくそ笑み乍（な）がら帰宅して晩酌も何時もよりはらずで舌鼓を打ちながら得意顔になつていたが何事も無い。「それみた事か」といって乍ら寝に就いた。が、不思議や、その夜更けから、抗夫の愛しき一人娘が、あらめ事を口ばしり乍ら苦悶（くもん）しはじめとうとう翌日の朝に死んでしまった。これは、竜神の祟りであると、娘の母はなげき悲しんで、村人達に話してこの土地を去つていった。

或る年の夏、非常な旱魃（かんばつ）の為に悪疫が流行し、死に至る者多く、勿論畑作物は枯死せんとするに際し、村人は憂慮し、協議の結果、時の能善寺住職、智円和尚に乞ひ、有難き経文の読誦と共に一心不乱に竜神に雨乞いの祈願をした。この時、智円和尚は、竜神に告げて曰く「汝竜神靈あらば村人の苦衷（くちゆう）を察し願意をくみて雨を降らし以てて村人を厄災より脱せしめよ。若し願意を容れずんばこの所に汝を神と崇め奉り竜神豊玉神王の神号を奉らん喝」と、唱え同時に結脈を投げ入れた。すると今まで鏡のように静であつた水面は、俄かに、大いなる渦を巻きて見るもすさまじき大波を打つて結脈は沈んだ。見ていた村人は「あれよあれよ」と騒いでいるうちに、空が俄かにきき曇り覆盆の降雨が襲来したので村人はずぶ濡れになつて帰宅した。それから一昼夜も充分な雨が降つたので、悪疫もなくなり、畑作物も蘇生した。そこで、祈願の誓を踏んで、同村村社神官市川文吾に依頼して、京都より御神体を迎え、一小祠を岩の上に建てて毎年祭祀を行う事になった。神号はそのまま竜神豊玉王という。



東雲名から北へ500mほどの所にある大きな岩石の下に、淵は存在していました。とても驚きです。（R7. 10. 28撮影）

○竜川の伝説第十七回はふちが淵の由来（2）です。

（1）（2）は十一月号に掲載しています。

## 竜川ふれあいセンターでの佐久間病院による巡回診療事業の開催日について

【診療時間】 毎月、第3水曜日の14:00～16:00 ★1月は、21日（水）です。

事前予約（佐久間病院 ☎965-0054）が必要となります。

※問合せ先：佐久間病院